

本の森通信

2023年12月

人学ばざれば道を知らず

(素質があっても学ばなければ立派な人物にはなれない)

『礼記』より

人権週間

12/4~12/10

人権について考える本

1948年に国連で世界人権宣言が採択され、採択日を含む1週間が人権週間として全国各地で啓発活動が行われます。しかし、現在もいじめや虐待、インターネット上の人権侵害、障害のある人や性的マイノリティ等に対する偏見や差別といった人権問題が存在しています。私たち一人一人が、自分以外の「誰か」のことでなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合う大切さについて考えてほしいです。人権に関する本を展示したコーナーもあります。

「音のない世界でコミュカを磨く」

難聴うさぎ (KADOKAWA)

耳が聞こえないインフルエンサー、難聴うさぎの初エッセイ。不自由さや生きにくさを感じた時にどう乗り越え、夢を叶え、障がいを受け入れたのかを語る。



「ペランダのあの子」

四月猫あらし (小峰書店)

小学6年の颯には、親友にも話せない秘密があった。たびたび暴力をふるう父、それを見て見ぬふりの母のこと。



「目で見ることばで話をさせて」

アン・クリア・レット (岩波書店書店)

11歳の少女メアリーは、島のだれとでも手話で話し、いきいきと暮らしている。ある日傲慢な科学者に誘拐され、ことばと自由を奪われて…。



石川県高校入試問題に使われた小説・新書特集

石川県の高校入試(国語)に使われた作品を展示しています。特に新書は今の世の中への理解が深まるので、冬休みにぜひ読んでみてください。

松任図書館で展示中

1年生が国語の授業で作成したおすすめの本の紹介POPを松任図書館で1月21日(日)まで展示しています。



冬休み特別貸出のお知らせ

◆期間 12/11(月)~12/22(金)

◆ひとり10冊まで

◆返却期限は1/11(木)

*今借りている本は、返却するか、貸出延長手続きをしてから借りてください。

11月のS・Gカード達成者

<Sシルバーカード...50冊読破>

Sカードは6冊まで貸出可

1年生...11名

2年生...6名

3年生...4名

<Gゴールドカード...100冊読破>

Gカードは8冊まで貸出可

1年生...4名

2年生...3名

3年生...1名